

こやのせだより

北九州市八幡西区大字野面630 (Tel 617-2765)
平成28年7月20日 発行責任 校長 藤井 英貴

夏休みがやってきた！！～がんばった、1学期

40日以上休みが続く夏休みは、子どもたちにとってはうれしい休みですが、保護者の皆様にとっては、長くてちょっと大変な休みかもしれません。学校から配布する「夏休み よい子の一日」などを一緒に読みながら、休み中にもきまりを守り、規則正しい生活ができるように、ご家庭でも話し合ってみてください。そして、2学期が始まる9月1日に子どもたちが元気な顔で登校してくることを願っています。

◇「あゆみ」を渡しました～「頑張り」をほめてください◇

今日、子どもたち全員に通知表「あゆみ」が渡されました。私は、全員の「あゆみ」を読みました。「あゆみ」には、子どもたち一人一人のよいところ、1学期に頑張ったことが書いてあります。また、2学期以降頑張りたいことが書いてある場合もあります。子どもさんと一緒に読んでいただき、頑張ったことについてはおおいにほめてください。そして、頑張りたいことについては、夏休みから取り組めるように、休み中の学習や生活の計画に入れるようにするとよいですね。ご家庭で子どもさんと話し合っ取り組んでいただければうれしいです。

◆ 災害時の緊急避難場所について～「災害時連絡カード」

先日、1年生に配布した「災害時連絡カード」は、登下校中や日常的に立ち寄る機会が多い場所で、地震や洪水などの大きな災害が起こった時に、避難する場所について家族で話し合っ決めてことを記入するカードです。2年生、3年生のご家庭には入学した年に、それ以上の学年には平成25年度に配布してご記入いただいています。2年生以上の子どもさんも、災害緊急時の避難場所について、再度、ご家族のみなさんで話し合っ確認しておかれると安心ではないかと思ひます。

なお、学校にいる間に災害が起こった場合の避難場所は下の通りです。

- 大きな地震が発生した場合…木屋瀬小学校運動場
- 大きな水害が発生した場合…木屋瀬小学校校舎の3階

また、近年の大災害時の状況から、緊急時には、電話やケータイ、スマホなどによる連絡が取りにくくなることわかっていひます。大きな災害が起こった時の家族の集合場所や、連絡方法についても話し合っおかれるとよいと思ひます。「備えあれば、憂いなし。」何も起こらないのが一番よいですが、いざというときの備えを怠りなく。

◇二度と戦争を起こさない～7/14 平和集会◇

12日(火)の1校時に全校放送で「平和集会」をしました。私は、平和の大切さ、いのちの大切さを子どもたちに考えてほしいと思ひ、3年前に小学校1年生だった沖縄県与那国島の安里有生(あさとゆうき)君が書いた「へいわってすてきだね」という詩を読みました。

また、私の話の後、人形アニメ「ながさきの子馬」を観ました。このアニメは、大川悦夫さん原作の絵本を映像化したものです。

長崎に落とされた原爆によって、火の中を一人ぼっちで逃げ惑う、生まれ4ヶ月の子馬の姿を通して、原爆で亡くなったのが人間だけではなく、生き物のいのちをも奪ったことを伝える物語です。



ぜひ、ご家庭でも戦後70年を過ぎた今、子どもたち一人一人が「平和の大切さ」「いのちの大切さ」などについて考える機会をつくっていただけたらいいと思ひます。

~~~~~【校長の話】~~~~~

みなさんは、「平和」ってどのようなことだと思ひますか。今日は、まず、はじめに、沖縄県与那国島のあさとゆうきくんが、3年前に小学校1年生だった時に作った詩「へいわってすてきだね」を読みまひ。「平和って何かな。」「わたしができることって、何だろう。」そんなことを考えながら聞いてください。

(詩「へいわってすてきだね」を読む)

沖縄県に住んでいるゆうきくんは、なぜ、このような詩を書いたのでしょうか?

今から80年以上前、日本は太平洋戦争で世界の国と戦っていひました。その中で、昭和20年6月、外国の兵隊が沖縄にたくさん上陸して来て、日本の兵隊だけではなくおじいちゃんやおばあちゃん、女性や子どもたちまで何万人もの人が亡くなりました。そのことを知ったゆうき君が、この詩を作ったそうです。

その後、昭和20年8月6日に広島、8月9日には長崎に原子爆弾を落とされ、何十万人もの人が命を奪われました。そして、長崎に原子爆弾が落とされる前日の8月8日には、今、みなさんが住んでいる北九州市も、鉄をつくる大きな工場や戦争で使う戦車や爆弾をつくる工場があったため、空から飛行機で爆弾を落とされる空襲を受け、街は焼かれ、多くの人がなくなりました。

このような大きな被害を受け、たくさんの人の命を奪われた日本が、8月15日に戦争に負けたことを宣言して、約15年間続いた戦争は終わりました。

それから、70年。もう二度と戦争はしない、と誓った日本は、それから一度も戦争をしていひません。

世界の中でも、そのような国は多くありません。でも、それがずっとずっと続くのかという、それは分かりません。

いつの日か、また戦争になるかもしれません。そうならたらどうなるでしょう。

いつ空から爆弾が落ちて来るかわかりません。友達や家族が戦争に行かなくてはならなくなるかもしれません。あなたの大切な人が、そしてもちろん、あなたが亡くなるかもしれません。

この後、「ながさきの子馬」という話のDVDを観まひ。これは、昭和20年8月9日に長崎に原爆が落とされた時のことを物語にしたものです。ぜひ、このDVDや先ほどの詩をもとにして、あなたの命、家族の命、友達の命、みんなの命を大切にしていひくこと、そして、この平和がこれから先もずっと続くように、「自分ができること」を考え、話し合っ欲しいと思ひます。

【へいわってすてきだね】

へいわってなにかな。  
ぼくは、かんがえたよ。  
おともだちとなかよし。  
かぞくが、げんき。  
えがおであそぶ。  
ねこがわらう。  
おなかがいっぱい。  
やぎののんびりあるいてる。  
けんかしてもすぐなかなおり。  
ちょうめいそうがたくさんはえ、  
よなぐにうまが、ヒヒーンとなく。  
みなとには、フェリーがとまっいて、  
うみには、かめやかじきがおよいでる。  
やさしいところがにじになる。  
へいわっていいね。へいわってうれしいね。  
みんなのこころから、  
へいわがうまれるんだね。



せんそうは、おそろしい。  
「ドーン、ドカーン」  
ばくだんがおちてくるこわいおと。  
おなかがすいて、くるしむこども。  
かぞくがしんでしまってなくひとたち。

ああ、ぼくは、へいわなときにうまれてよかったよ。  
このへいわが、ずっとつづいてほしい。  
みんなのえがおが、ずっとつづいてほしい。

へいわなかぞく、  
へいわながっこう、  
へいわなよなぐにじま、  
へいわなおきなわ、  
へいわなせかい、  
へいわってすてきだね。

これからも、ずっとへいわがつづくように  
ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。